

# 加藤内科広報新聞 4月号

今年の桜は例年より長く咲きました。  
お花見に出かけた方も多かったのではないのでしょうか。



## 特定健診を受けましょう

### 特定健康診査(特定健診)

4月より、H21年度分の特定健康診査(特定健診)が始まります。

目的は、メタボリックシンドロームの発見と予防です。

対象の方には、受診券など必要な書類が郵送または、勤務先から配布されます。

昨年度受診されなかった方も、この機会に受けてみてはいかがでしょうか。

※受診される方は、朝食を抜いてきてください。

受診券、受診票(左側を記入してきてください)を持って来て下さい。

堺市では以下の検査も実施しています。

※介護予防のための生活機能評価(受診票が郵送された方のみ)

※大腸がん検診

※肝炎ウィルス検診(H22年3月31日まで無料で受けられます。)注:一度検査された方は受けられません。

**特定健診と一緒に受診出来ますので、詳しくは、スタッフまで声をかけてください。**

**特定健診はお早めに**

## 予防接種

### 麻しん、風しん(MR)

H21年度の対象となる方は、来年の3月までに接種して下さい。

対象年齢を過ぎると、無料で接種できなくなりますのでご注意下さい。

対象の方

第1期:生後12ヶ月~23ヶ月

第2期:小学校就学前1年間(平成15年4月2日~16年4月1日生まれの方)

第3期:中学1年生(平成8年4月2日~9年4月1日生まれの方)

第4期:高校3年生(平成3年4月2日~4年4月1日生まれの方)

### 二種混合(DT)

対象の方

11歳、12歳(小学校6年生が望ましい)

13歳のお誕生日を過ぎると無料で

接種できなくなりますのでご注意下さい。



## 咳が長く続く？風邪かな？

咳が長く続く場合、気管支炎、肺炎、気管支喘息、肺結核、肺がん、COPD(肺の生活習慣病)などの可能性もあります。

### ※風邪

風邪を起こすウイルスや細菌の感染によって、体のだるさ、寒気、のどや鼻の乾燥感から始まり、のどの痛み、鼻水、鼻づまり、頭痛、発熱などが現れます。続いて咳、痰が出ます。

症状が重くなると、気管支炎、肺炎などに進む場合があります。ただし、咳だけが長引く場合は、他の病気の可能性が大きいため、早めに医師の診察を受けて下さい。

### ※気管支喘息

気管支の炎症により、肺への空気の吸入、呼出が困難になる病気です。発作性の咳や、「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という音が、のどや胸で聞こえたり、呼吸困難が起こります。場合によっては、失神など精神に異常をきたすこともあり、生命上の危険の可能性もあります。

発作を抑える薬や吸入、ステロイド薬、慢性の炎症を治す薬、などが処方されます。

### ※肺結核

空気中から吸い込んだ結核菌が肺で繁殖することによって起きる病気です。初期段階では、ほとんど症状がありませんが、進行していくと、二週間以上にわたり咳や胸痛、血痰、寝汗、微熱などの症状があります。

痰の細菌検査、胸部レントゲン、赤沈、クオンティフェロンなどの血液検査などをします。抗結核薬が処方されます。

### ※マイコプラズマ肺炎 ※百日咳 などもあります。

咳が続いているという事は、ただの風邪ではないかもしれません。症状によって検査や使うお薬も違いますので、まずは、かかりつけ医にご相談してください。



**保険証の提示をお願いします。**

毎月月初めには必ず保険証の提示をお願いします。  
また、保険証の変更がある方は、窓口まで声をかけて下さい。  
ご協力宜しくお願いします。

近頃、とても混み合っている日があり、来て頂いた患者様にはたいへんご迷惑をおかけ致しております。皆様のご協力を頂いて感謝しております。少しでも待ち時間が少なくなる様に、スタッフ一同これからもがんばりますので、宜しくお願い致します。また、診察までの間、マッサージも出来ますので、ご希望の方は遠慮なくスタッフまで声をかけて下さい。